



元亀の里
平谷シゲ様



元亀の里
尾口ヨシ子様



元亀の里
北村光代様



元亀の里
松崎エイ子様



寿限無
松下ヤエ子様



風和の里
小堀好市様



風和の里
河野サダ様



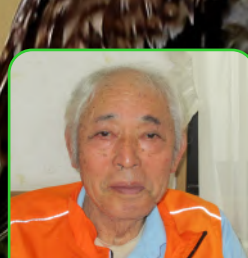
風和の里
山口スイ子様



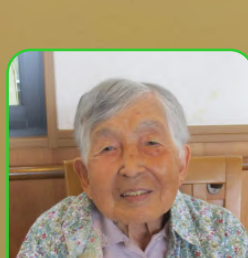
風和の里
松本タノ子様



通所リハビリ
川添テイ子様



通所介護
瀬崎敏行様



通所介護
富田タス様



丘の家
藻越末次様



寿限無
山里三夫様

バースデーインタビュー

昭和17年生まれ、7月5日で83歳になりました。生まれは五島、女2人男4人の6人兄弟の下から2番目で兄弟からこき使われていたそうです。家は農家で小さい頃からよく手伝いをしていました。兄弟が多かったため、小遣いが欲しく、中学校に入ると友人の紹介で新聞配達を始め、初めてのお給料で大好きなアンパンとメロンパンを買いに行ったそうです。「あの味は今も忘れられない。最高に美味しかった。」と話されていました。その後、大阪、名古屋へと移り、名古屋の繊維工場で7～8年勤務し、そこで奥様と出会われたそうです。奥様の八重歯が可愛く、三夫さんのひとめぼれだったようです。奥様の出身地の鹿児島県で結婚式を挙げ、長崎に帰ってきて空調関係の仕事に就き、お金を貯めて家を建てられたそうです。奥様とはとても仲が良く、面会に来られた際いつも楽しそうにお話をされています。83歳の目標を聞くと「その日その日を大切に、幸せに暮らしたい」と話してくださいました。



通所リハビリテーション



武田早苗様



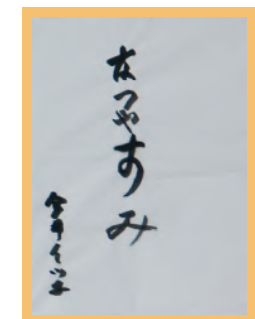
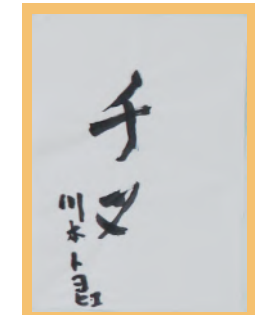
寿限無二階



今月の作品紹介
LIFE
is
a work
of
ART



通所介護



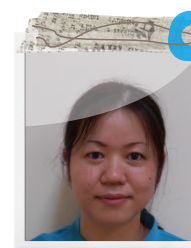
七夕メニュー

いなりずし
七夕そうめん
冬瓜のそぼろあんかけ
メロン



お楽しみメニュー

- うなぎ散らし寿司
- 枝豆とみょうがの白和え
- もずくのすまし汁
- ぶどう
- ケーキ
- ミルクティー



山下要

今月の職員紹介

7月より寿限無の3階に入職しました。これから新しい場所での生活が始まるということで楽しみでもあり、ドキドキしています。少しでも早く戦力になれるように精一杯努力していきますので、これからどうぞよろしくをお願いします。



17日、西彼農業高校の学生さん7名が「介護の仕事学体験ツアー」で、元亀の里を訪問してくれました。当日は、学生さんによるハンドベル演奏と合唱の披露があり、元亀の里通所リハビリテーションのご利用者様との交流を深めることができました。実際の介護の現場に触れることで、介護分野への興味関心を持ってもらえていたらうれしいです。



3日、元亀の里入居者様と調理教室を行いました。今回は、フライドポテト。元亀の里の庭で育てた大きなじゃが芋にまずはびっくり。皮を剥いて、棒状に切って、揚げていきます。参加した方からは、「やっぱり料理は楽しかね」「美味しそうに色がついて良かった」との感想が。シンプルな塩味に芋の旨さが引き立ちます。次回が楽しみです。



1日、中山認定こども園の園児ら6名、シャキシャキクラブ参加者と通所介護ご利用者様とで七夕の飾り付けをしました。「こよりはしっかりよって飾りや短冊をつけると取れにくいのよ」と利用者様のアドバイスをもらいながら、程よく笹がしなる感じに仕上がりました。



15日、元亀の里で夜間想定消防総合訓練を実施しました。今回の訓練では、職員が利用者役になり、実際に階段を避難させる訓練などを行いました。消防隊員より搬送方法の指導を受け、女性でもスムーズにより早く安全な場所に誘導できる方法を学びました。

5日、通所リハビリテーションにご利用者様と、朝採れたきゅうりできゅうりの浅漬けを作りました。2時間ほどで、美味しく漬かり、昼食と一緒にいただきました。簡単で食感もよく美味しいと好評で、自宅でも試したいと調味料の分量を書き留めている方もいらっしゃいました。



随 ずっとりばし

さて突然ですが「生まれ変わり、子孫は増えない。」といった昔からの言い伝えや迷信を耳にしたことがあるかと思います。私は少しだけ信じているかなあと・・・なぜかと申しますと、私が母のお腹に居た時に祖母がなくなったと聞かされました。その後、私のお腹に初孫になる長女が宿った時に60歳の若さで父が亡くなり、その時に親戚より「父の生まれ変わり」と言われました。次に私の長女が妊娠して母が亡くなり、少し怖く思えた出来事でした。亡くなった身内が別の存在として自分の血筋を絶やさないように「亡くな

る」と「生まれる」は、人生のサイクルなどと言われる人もいます。私はいずれもいのちを敬う気持ち、いのちへの愛情が込められている事に違いないと思います。両親が亡くなり姉は実家で一人暮らしです。今まで姉に任せっきりでした。両親への親孝行は姉と仲良く、人生悔いのないように感謝の気持ちを忘れずに愛情たっぷりと過ごす事と思いました。ちなみに、私の次女は長男を出産しました。丁度愛犬が死んだと同時期で「愛犬の生まれ変わり」と言っています。「信じるか信じないは、あなた次第です。」

せいひ会の職員が思うがままをリレー式に綴るコーナー。
今月は、ヘルパーステーション元亀の長井真美さんです。



せいひ会だより

2025年(令和7年)
8月1日発行
＜第314号＞
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



7月7日、七夕の日。各事業所では、趣向を凝らしたレクリエーションが行われました。風和の里西ユニットでは織姫のペットボトルと彦星のペットボトルを準備し、両方から引っ張り真ん中で出会わせるというロマンチックなゲームで大盛り上がり。グループホームでは、涼しげなフルーツ寒天を作り、飾り付けはもちろん願い事を書くのも楽しみの一つだった様です。家族の幸せや自身の健康を願うものから、あんばんが食べたいやのど自慢に出てみたいなど、ユニークな願い事もあったとか。「今日は晴れたから、織姫と彦星は会えるやろね。」と、夜の星空に思いをはせる一日でした。

7月の行事

7日 七夕 (各事業所)
15日 夜間想定消防総合訓練 (シニアヴィレッジ)

8月の行事予定

5日～ 写真作品展示会 (風和の里)
12～13日 精霊流し飾りつけ (通所介護)
15日 精霊流し (せいひ会)